

## 治癒の病理

～臨床の疑問に基礎が答える～



東京歯科大学名誉教授

下野 正基

### 1. 歯肉からみた歯周治療

歯肉は、歯科衛生士の日常臨床業務で最も多く関わりをもつ特殊な組織である。生体のどの場所をみても外部環境と内部環境の間には必ず上皮が存在するのに、歯は歯槽という内部環境から口腔粘膜を貫通して口腔という外部環境に突出している。このような特殊なしくみとはたらきをもつ歯肉の最新情報をわかりやすく解説する。

歯周組織の再生における上皮性付着の意義についても説明する。重要なことは、(a) 歯周治療後の歯根面に形成された長い付着上皮は時間の経過に伴い短小化することである。つまり、上皮性付着は結合組織性付着によって置き換わる。(b) 長い付着上皮は正常の付着上皮と同様、接着性タンパク（ラミニン-5, およびインテグリン  $\alpha 6 \beta 4$  など）によって接着しており、臨床的には安定した治癒形態といえる。このことは、「歯周基本治療」が重要であることを意味している。さらに、(c) 4-META レジンと再生上皮との間にも接着性タンパクが発現するので、このレジンは歯周外科に有用であることを述べてみたいと思う。

### 2. 臨床の疑問に基礎が答える（臨床的考察）

臨床から寄せられた多くの疑問のうち、次のような質問に対してやさしく説明する。

- ① 歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラークの違いは何か？
- ② 歯周病原菌と骨吸収の関係は？
- ③ 歯肉の色や形は病態を反映しているか？
- ④ やわらかい歯肉とかたい歯肉では治り方が違うのか？
- ⑤ 歯周ポケットはどのようにして形成されるのか？
- ⑥ BOP（Bleeding on Probing）は何を意味するのか？
- ⑦ 歯周ポケット内では何が起きているのか？
- ⑧ 肉芽組織は除去すべきか？
- ⑨ ルートプレーニングはどこまでやればいいのか？
- ⑩ 退縮歯肉があがるって（クリーピングアタッチメント）本当か？など。

## 略 歴

下野 正基 (しもの まさき)

出生地 北海道富良野市

生年月日 1945年5月4日

- 1970年3月 東京歯科大学卒業
- 1974年10月 ミラノ大学医学部薬理学研究所客員研究員
- 1976年9月 学位受領(歯学博士)東京歯科大学
- 1990年4月 日本病理学会認定口腔病理医(第30号)
- 1991年4月 東京歯科大学病理学講座主任教授
- 1998年6月 東京歯科大学学監
- 2004年6月 東京歯科大学歯科衛生士専門学校校長
- 2005年8月 FDI(世界歯科連盟)理事
- 2006年4月 日本学術会議連携委員
- 2011年4月 東京歯科大学名誉教授
- 2012年1月 日本歯科医学会会長賞受賞
- 2014年6月 日本老年歯科医学会功労賞受賞

非常勤講師(2015年4月現在)

広島大学、新潟大学、朝日大学、北海道医療大学、延世大学(韓国)

著書(近刊)

下野正基「新編治癒の病理」臨床の疑問に基礎が答える、医歯薬出版、2011年

下野正基「やさしい治癒のしくみとはたらき」、医歯薬出版、2013年

金子 至、下野正基「歯肉を読み解く」、医歯薬出版、2014年



## もう一度見直そう！小児歯科学

愛知県豊橋市 開業

豊橋キッズデンタルクリニック 院長

中野 崇

遠い学生時代を思い出すと、小児歯科学の教科書は分厚く、持ち運びに重く、内容は多岐に渡るため試験では覚えることが多いため、授業そのものも苦手だった先生も多いのではないのでしょうか？なんだか過去を思い出しますね。

それでも歯科医師になると若い患者さんは毎日訪れ、ただでさえ小さな乳歯に神経を集中しなければならないのに、駄々をこねて治療を拒否したり、泣いたり先生を手こずらせますよね。

今回の講演内容はあくまでも基礎です。それも昔使った教科書の内容をもう一度紐解きながら、そこに書かれていた臨床での意味合いを皆さんと考えたいのです。目新しい知識や治療方法は確かに魅力的で収入にも繋がるかもしれませんが、やはり保険医としては基礎でしょう！…ということで、授業を再開します！

ドクターのひとり言…歯肉炎とむし歯の予防？そりゃあ、理解していますよ。歯磨きとフッ素と間食指導でしょう。あと、う蝕活動性試験もあったよな…そもそも活動性ってなんだ？そこで、**第1限目：歯肉炎・う蝕の成り立ちとその予防**

ドクターのひとり言…今日来た2歳児、治療室に入るなり泣いて大変だったな。そういえば、この前から来ている年中さん、なかなかトレーニングから進まないよな。衛生士さんに丸投げしているからか？…そこで、**第2限目：小児の対応法**

ドクターのひとり言…口腔内の診察結果きちんと記録していますかって？現存歯の状態、歯周検査、咬合診察でしょ。そういえばヘルマンの咬合発育段階って何だっけ？乳歯に歯周検査なんてするの？レントゲンでバイトウイングなんて使ってる？あれ、痛がるからねえ。…そこで、**第3限目：診察・診断**

ドクターのひとり言…こどもをなだめて治療しても、すぐにレジンははずれるんだよねえ。ラバー？あれ、痛がらない？そういえば、乳歯の根管治療ってすぐ腫れるでしょう。何がいけないの？いつ抜歯するの？…そこで、**第4限目：歯冠修復と歯内療法**

ドクターのひとり言…咬合誘導？ああ、やってるよ。床矯正自費で。低学年の患者さん結構来てるよ。うち、一般歯科だからね。ニーズには答えないと。えっスペース分析？静的咬合誘導？なにそれ？保隙装置を使いながらリーウエイスぺースを利用して乳歯の抜歯を効果的に行って叢生の改善？？…そこで、**第5限目：咬合誘導**

さて、小児期の歯科診療システムではう蝕、歯周病、不正咬合いずれにおいても口腔内環境の改善の前にはリスクの評価と将来予測、後には予防処置と定期診察が常にライフステー

ジごとに繰り返される必要があります。その際、我々歯科医療従事者は日常の臨床の場で非常に有利な立場にあります。というのは、歯科を受診する人たちは歯科医療従事者のいうことを聞くために、耳を開いた状態にいるからです。ですから、母親、父親、祖父母、小児に治療前後あるいは治療をしながらいろいろな口腔保健に関する情報を有効に提供できるのです。それにはなにが必要ですか？それに足る基礎知識です。さあ、もう一度一緒に勉強しましょう。

それでは、講演会では各自、小児歯科学の教科書を持参ください。えっ、後輩に売っちゃった？ 安心してください。冗談です。

中 野 崇 (なかの たかし) 昭和46年1月20日生まれ

豊橋キッズデンタルクリニック

住 所：〒440-0862 豊橋市向山町塚南14-4 向山フォレスト DUE 2F

TEL：0532-39-7680 FAX：0532-39-7682

E-mail：nakano@toyohashi-kidsdental.jp

#### 【職 歴】

1995年 愛知学院大学歯学部卒業

1999年 愛知学院大学歯学部大学院歯学研究科（小児歯科学専攻）修了  
愛知学院大学小児歯科学講座助手（歯学博士 愛知学院大学）

2000年 日本小児歯科学会認定医

2001年 愛知学院大学小児歯科学講座講師

2002年 愛知学院大学在外研究員（英国 リーズ大学客員研究員 2003年まで）

2007年 日本小児歯科学会専門医

2010年 日本障害者歯科学会認定医

2011年 日本小児歯科学会専門医・指導医

2014年 豊橋キッズデンタルクリニック開業

愛知学院大学歯学部小児歯科学講座非常勤講師

豊橋歯科衛生専門学校非常勤講師

#### 【学会活動】

日本小児歯科学会：専門医・指導医、中部地方会役員

日本障害者歯科学会：認定医

日本口腔衛生学会：会員

#### 【書 籍】(分 筆)

新進気鋭の小児歯科医 小児歯科に架ける夢を語る、東京臨床出版(東京)、小児歯科臨床1月号

小児歯科は成育医療へ、デンタルダイヤモンド(東京)、デンタルダイヤモンド春季増刊号

小児科医が知っておきたい歯科・口腔のケアと対応、診断と治療社(東京)、小児科診療、7月号

子どもの歯に強くなる本、クインテッセンス出版(東京)

乳歯列期における外傷歯の診断と治療 第2版、治療法の実践、クインテッセンス出版(東京)

口唇口蓋裂 Q & A 140, 医歯薬出版(東京)



## 下顎義歯の吸着を可能とする 総義歯臨床術式の要点

(一社)東京都歯科技工士会所属

I.D.T デンタルラボラトリー 岩城謙二

近年、総義歯製作において印象採得時の印象圧に注目が集まっている。無圧印象法か選択的加圧印象法か、それぞれの個人トレーの違いや印象材の性質について論議されている。中でも、精密印象から得られる「吸着義歯」や「接着義歯」は噛める義歯として話題となっている。それは、義歯のあるべき形態を創造し、それを具現化していくシステムが組み込まれているからである。生体に調和した義歯は口腔内で安定し、そこには機能的な美しさがあり、それを装着する患者さんを笑顔にすることができる。

現在演者は、患者さんが快適に使用できる義歯の提供を目指し、歯科医師との連携を重要視し、日々の臨床においても立会いを行うなどの取り組みを実施している。とくに、総義歯の問題解決にあたっては、BPS（生体機能的補綴システム）エステティックデンチャーを中心にシステムの紹介を行っている。

本システムの特徴は、印象採得から咬合器装着までの術式が細部に亘り指定され、それは人工歯排列から重合システムにまで及んでいる。さらに、その義歯床は歯間乳頭部や遊離歯肉および付着歯肉の色調まで再現され、個々の患者さんの口腔内組織との調和をはかる技法はデンチャーベース・カラーリングとしても知られている。演者は、BPS エステティックデンチャーを導入したことで、臨床成績が大きく向上した。具体的に言えば、多数歯欠損症例や支台歯を含む補綴処置に対し、BPSの術式と歯科医師とのコミュニケーションを通して予知性の高い治療計画の立案に参加できるようになったことである。

そこで今回は、BPSの術式において立会いを行う場合、歯科技工士から見た確認項目とその情報伝達方法に関して、臨床例を用いて説明する。



## 【経 歴】

- 1971年 東京都生れ
- 1994年 日本歯科大学附属歯科専門学校卒業
- 1996年 日本歯科大学附属専門学校歯科技工専攻科卒業
- 2000年 I.D.T デンタルラボラトリー開設
- 2003年 Ivoclar Vivardent BPS 認定歯科技工士取得
- 2007年 Ivoclar Vivardent 「BPS 世界コンテスト」世界第1位受賞
- 2012年 「ゲルバーデンチャーコース」「Candulor 社エステテックデンチャーコース」をス  
イスにて受講
- 2013年 チューリップにて「Gerber Registration Technique」修了
- 2014年 BPS テクニカルインストラクター就任

## 【著 書】

1. 岩城謙二：Esthetic Denture with Biofunctional Prosthetic System 歯科技工、40(8)：857  
～864, 2012. 匠
2. 岩城謙二：義歯の長期安定性を求めたデンチャーベース・カラーリング技法の提案 歯  
科技工40(9)：983～992, 2012.
3. 岩城謙二：義歯の長期安定性を求めたデンチャーベース・カラーリング技法の提案 歯  
科技工40(10)：1116～1125, 2012.
4. 岩城謙二：生きた義歯をつくる QDT40(2)：77～84, 2015 MasterPiece
5. 岩城謙二：明確な基準を根拠として行う的確で効率的な人工歯排列の実践 歯科技工  
43(7)：1116～1131, 2015
6. 岩城謙二：zero2015 春号、夏号、秋号、冬号 BPS による総義歯製作術式を再考する。
7. 岩城謙二：2015補綴臨床 11月号 下顎義歯の吸着を可能にする総義歯臨床の実際



## 歯科衛生士が行う科学的なケアの基盤 歯科衛生ケアプロセスの概念を学ぶ

宮城高等歯科衛生士学院

教務主任 佐藤 陽子

歯科臨床の現場では、歯周病をはじめとするさまざまな領域において、歯科衛生士がより専門的な役割を担うようになってきました。歯科診療所のみならず、施設や病院などでは多職種との連携が求められ、専門的な立場からのケアが求められています。

これまでの歯科衛生士は、人間性や知識・技術に加え歯科医師からの指示を的確にこなす、あるいは指示される前に意図を汲んで患者に対応することで、評価を受けてきました。しかし、疾病構造や患者ニーズの変化に伴い、いま、歯科衛生士に求められているのは、包括的なケアであり、患者(対象者)への根拠に基づいた個別の関わりです。歯科医師からの指示を待つ姿勢から、歯科衛生士が独自の視点で対象者の問題を考え、ケア内容を提案し実践することが必要とされています。そのためには意思決定や問題解決能力が重要となります。

このような背景の中で、教育では歯科衛生ケアプロセス(Dental Hygiene Process of Care、歯科衛生過程)の教育が行われています。歯科衛生ケアプロセスは「アセスメント」「歯科衛生診断」「計画立案」「実施」「評価」の5つの段階から成り、歯科衛生臨床の基本となる概念です。このプロセスをツール(道具)として応用することによって、対象者(患者)一人ひとりのニーズに応じた、根拠に基づく歯科衛生ケアを提供することができるようになります。さらに、歯科衛生理論や概念モデルを導入することにより、より対象者を包括的に考えられるようになり、これまで歯科衛生士に足りなかったものも出てくるようになります。

今回、歯科衛生ケアプロセスの基本的な考え方を中心に、根拠ある歯科衛生臨床の考え方を中心にお話いたします。また、歯科衛生ケアプロセスに基づいた問題志向型の業務記録の作成についてもお話いたします。

日常臨床に歯科衛生ケアプロセスをツールとして取り入れるうえで、ルールや馴染みのない言葉に難しさを感じることもあるかもしれません。しかし、チャレンジ精神を持って少しずつ理論や概念モデルを取り入れること積み重ねていけば、歯科衛生士の可能性はさらに広がると確信しています。

### 内 容

1. 問題解決の能力とは 2. 歯科衛生ケアプロセスの基礎と実践 3. 問題志向型業務記録の作成とは 4. 専門性の確立を目指して

## 【略 歴】

- 昭和58年 宮城歯科衛生士学院(現 宮城高等歯科衛生士学院) 卒業、歯科医院勤務  
平成9年 多賀城市役所健康長寿課 勤務  
平成13年 宮城高等歯科衛生士学院 専任教員  
平成15年 宮城高等歯科衛生士学院 教務主任  
平成19年 東北大学大学院歯学研究科修士課程修了(口腔科学修士)

## [主な著書]

- ・「歯科衛生ケアプロセス」 医歯薬出版, 2007(編著)
- ・「歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション」 医歯薬出版, 2011(共著)
- ・「歯科衛生ケアプロセス実践ガイド」 医歯薬出版, 2015(編著)

## [所属学会等]

- 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 評議員  
日本歯科衛生教育学会 評議員  
日本歯科衛生学会

## [主な歯科衛生関連論文]

- ・ Sato Y, Miura A, Saito A. Dysphagia management in a 3-year dental hygiene education programme in Japan. Int. J. Dent. Hygiene 3, 179-184, 2005 (第5回日本歯科医学教育学会奨励賞 受賞論文)
- ・ 佐藤陽子, 三浦亜依, 齋藤 淳. 歯科衛生ケアプロセスの教育に関する研究. 日歯教誌21, 11-20, 2005
- ・ 佐藤 陽子. 3年制カリキュラムにおける歯科衛生ケアプロセスの教育－9年間の歩み－ 日衛教育誌 5 : 33-38, 2014.

## ①12:30~13:15 山八歯材工業(株)

## オープンデジタルデンティストリーの今後の展望

(株)データ・デザイン 瓜生 博司

オープンCAD/CAMシステムは、スキャナー・CADソフト・CAMソフト・造形装置を自由に組み合わせ、歯科医療の様々なニーズに対し最適なプロセスをユーザー様主導で構築することが出来る優れたシステムです。

今回はオープンCAD/CAMシステムについての最新情報や近年話題の3Dプリンターとの接続事例を合わせまして、山八歯材工業(株)がこれまで取り扱ってきた「ジルコニア」、「PMMA」、「WAX」の他、今後展開される「義歯床用ディスク」等の新素材の活用について、歯科技工専門学校教員経験をお持ちの(株)データ・デザイン瓜生氏より皆様へお話しさせていただきます。

なお、開催期間中は山八歯材工業(株)ブース内にてシステム一式の展示も行いますので、併せましてぜひご覧下さい。

## ②13:15~14:00 (株)モリタ

## 明日から活用できる！スーパーボンドの最新情報と新製品のご紹介

サンメディカル(株) 国内営業部 宮田 道人

発売から30年以上が経過した歯科用接着性レジンセメント「スーパーボンド」ですが、その信頼性・重要性はより一層増しています。最近ではCAD/CAMハイブリッドレジン冠が普及し、脱落予防の選択肢として再度注目されています。レジンでは特異な性質である「水」との反応性により、あらゆる被着体に高い接着性を示すことはもちろん、耐衝撃吸水性の観点からも補綴物の保護に非常に有効です。また長期的な臨床エビデンスに基づく生体親和性も、材料選択に於ける重要な要素ではないでしょうか。

今回の企画講演ではスーパーボンドの使用上のポイントや特長に加え、各地の先生方から頂いた情報やデータを元に、スーパーボンドの更なる活用方法や臨床応用例をお伝え致します。使用方法が難しいと思われがちなスーパーボンドですが、ポイントを押さえて頂くだけで飛躍的に使いやすくなります。また使用上のトラブルを回避できる様々な新アイテムも登場しています。スーパーボンドを使いこなすことができれば皆様の臨床の幅をきっと広げて頂けるかと思えます。是非スーパーボンドを今以上に知っていただき、日々の診療にお役立てください。

さらに、スーパーボンド以外の耳寄りな新製品情報がありますので、こちらも併せてご紹介させていただきます。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## ③14:00~14:45 日本歯科薬品(株)

## お口の汚れを軟化させてからめとる「お口を洗うジェル」

日本歯科薬品株式会社 開発部 大庭 沙耶歌

近年、継続的な口腔ケアを行うことで、誤嚥性肺炎や低栄養の予防ができることが報告され、口腔ケアは単に口腔衛生の予防的手段ではなく、高齢者のQOLの維持向上や全身疾患の改善や健康増進に向けた医療の一環と考えられるようになってきています。

口腔ケアには一般的に水が使われますが、うがいや吐き出すことがうまくできない要介護高齢者では、口腔ケアで使用した水を誤嚥してしまい、誤嚥性肺炎の発症リスクを高める恐れがあると言われています。

そのような事態を防ぐために、水のかわりに、誤嚥しにくいジェルで口腔ケアを行うことを目指し、国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センターの角 保徳先生らと共同で開発したのが「お口を洗うジェル」です。

ジェルの物性や口腔ケアに必要な特性を検討し、『口腔内に塗り広げやすく、たれにくい』、『汚れを軟化させてからめとりやすい』、『汚れと一緒に吸引・除去しやすい』といった口腔ケアに適した特性を有する「お口を洗うジェル」が完成しました。今回は、ジェルの特長をご説明するとともに、「お口を洗うジェル」の活用例として「水を使わない口腔ケア」の手順について臨床動画を交えながらご紹介いたします。口腔ケアに適したジェルの特性をご実感いただくとともに、先生方の日々の臨床の一助となりましたら、幸いです。

## ④14:45~15:30 ライオン歯科材(株)

## 予防歯科を本気で考える個別対応のセルフケア処方（根面う蝕ケア編）

フリーランス歯科衛生士 片山 章子

長年の臨床経験から考える予防歯科成立の鍵は3つあります。

1つはリスクアセスメントで個別対応のセルフケア処方をおこなうこと、2つ目は主体的なセルフケア行動と適切なプロケア介入のスピードと頻度、3つ目はチームワークです。患者さんを生涯支えるチームの覚悟と思いは患者さんが医院に通い続ける原動力となります。

本講演では私がチームと共に実践しているケアの臨床におけるポイントを、根面う蝕の対応を中心に新製品の情報を交えてお話しいたします。

## ⑤15:30~16:15 (株)ヨシダ

## 今、ブラッシング指導に求められる意識改革とは

明海大学歯周病学分野 林 丈一郎

より多くの人々が口腔内の健康を長く維持できるようにするためには、できるだけ簡単かつ確実にプラークを除去できる方法を考える必要がある。本講演では、補助清掃用具を用いることなく、ソニックアークのみで、歯間部も含めてすべての歯面のプラークを除去する方法について解説する。

## ⑥16:15~17:00 (有)デンタルテクニカ (協賛 サンデンタル株式会社)

## 咬合治療と呼吸改善による姿勢の変化

子供の咬合を考える会 (京都府開業・日本歯科医師会会員) 三村 善朗

姿勢や顔貌は、歯列咬合も含め、その方の今までの生活習慣の積み重ねといった性質を持っています。私自身、横寝やうつぶせ寝などの寝相、片方で噛む癖、口呼吸などで歯並び、噛み合わせが崩れるばかりでなく、姿勢や顔貌への変化があらわれてくることを確認し、観察してきました。

そして噛み癖や呼吸などの生活習慣の改善、矯正治療を通じて、噛み合わせや舌の位置が改善し、鼻呼吸を獲得することによって姿勢が改善し、顔の表情にも生気がみなぎってくることを多数経験しました。

そのような改善を客観的に評価するため、11年前に現在のポスチャースクリーンの原型となるスクリーンを導入し臨床で使用しています。その経験から患者さんとの向き合い方と患者さんへの指導や治療、姿勢や顔貌の変化についてご報告したいと思っております。

また私の所属する「子供の咬合を考える会」でのメンバーでの研究の成果についてもお話出来ればと考えております。

ポスチャースクリーンシステムは患者さんの全身姿勢の記録を継続的に一定性、安定性を保つために開発されたものです。そのスクリーンと足マットを組み合わせたシステムは患者さんの体の診査、診断に大きく寄与し、今までにない歯科医院の有効なアイテムとなると考えております。

## ⑦17:00~17:45 クラレノリタケデンタル(株)

## 接着システム有効活用のポイント ~保存治療から補綴治療まで~

浜松市開業 田代 浩史

初期う蝕への小規模修復治療から、大規模欠損回復が必要な補綴治療まで、ボンディングシステムやレジンセメントを使用したメタルフリー治療の需要は拡大し、日常臨床における接着システムの有効活用と治療体系の整備は急務である。直接法におけるコンポジットレジン修復の歯質接着性能は既に必要十分な領域に到達し、う蝕治療用修復材料の範疇を越えて審美的・低侵襲な歯冠形態構築も可能となり、新たな適応症(ダイレクトクラウン修復・ダイレクトブリッジ修復)への理解が必要状況となった。また、課題のあった間接修復におけるレジンセメントの歯質接着能力も新規レジンセメント(PANAVIA V5)の登場により大幅に改善され、エナメル質・象牙質・ジルコニア・メタル・セラミック・コンポジットレジンなど対象毎に細分化されていた接着前処理は、シンプルなシステム化が実現した。従来のデュアルキュア型(光・化学重合型)レジンセメントでは実現困難であった光到達困難部位での短時間接着強度獲得が可能となり、多彩な臨床状況で間接修復のメリットを発揮できる環境が整備された。小白歯におけるハイブリッドレジンCAD/CAM冠も保険導入され、治療オプションとして有効活用し安定した予後を期待するためには、各治療ステップでの注意事項を整理する必要がある。関連材料の氾濫により日常臨床でのシステム選択が混乱する昨今、安定した治療予後を期待できる材料選択と術式整備について、情報を整理したい。

## ⑧17:45~18:30 デンツプライ三金(株)

## 新たに開発された高強度歯冠用硬質レジン雅(ミヤビ)とは?

## 一 保険でできるメタルフリー審美修復材料雅の臨床応用について 一

医療法人社団優恒会 松村歯科医院理事長

東京医科歯科大学歯学部附属病院アレルギー外来臨床教授 松村 光明

近年、メタルフリー修復による臨床応用は、患者さんの白い歯に対する審美的な要求や、金属アレルギーの問題と相まって急速に広がっており、今後は更に普及、増加していくことが推測されます。保険診療の中で、築造体からメタルフリーを考えられるように、いよいよ、1月からファイバーコアが保険導入されることになりました。これによって保険による強度に優れたメタルフリーが加えられることが予想されます。

メタルフリー修復用、高強度歯冠用硬質レジンとして日米共同開発された「ミヤビ」は、2014年8月に前歯部・小白歯部のレジン単独での築造材料として保険適用されました。従来の歯冠用硬質レジンを超える高い曲げ強度(220MPa)を有しており、金属フレームを必要とせず、適合、強度、審美性を兼ね備えた新しい歯冠用硬質レジンです。

また、微小結晶構造により、口腔内での色素沈着が軽減され、高い色調安定性も備えた特長を有しています。

そこで今回、本講演では、「ミヤビ」を用いた補綴治療を中心に、メタルフリー治療の特徴、留意点、制作工程などを、臨床例を交えてご紹介いたします。

## ①10:00~10:45 A.R.メディコム・インク・アジア・リミテッド

## 歯科領域における洗浄の重要性(仮)

愛知県厚生連 海南病院 感染制御部 感染制御室 感染制御課長 島崎 豊

再使用可能な使用済み器材は、洗浄によって汚染物を除去した後に消毒や滅菌を行い繰り返し患者に使用されている。歯科領域では、使用済み器材を洗浄するときのマニュアルが整備されていないことや洗浄剤を選択するための基準もないことが多く、また作業者の安全を確保するための手袋・マスク・ゴーグル・防水性エプロンなどの個人防護具が適切に使用されていない現状がある。

一方、医科では使用済み器材の洗浄の重要性が認識されるようになり、洗浄剤を選択する基準と浸漬洗浄・ブラッシング洗浄・超音波洗浄・ジェットウォッシャーなどの洗浄業務に関するマニュアルを作成し実践されるようになり、さらには洗浄を行った器材の洗浄効果を科学的に分析し評価する洗浄評価も確立されて、洗浄業務が改善されるようになった。

使用済み器材の洗浄が不十分になると、その後の消毒や滅菌に影響を与えて不完全な消毒や滅菌不良を起こす危険性があることや高価な器材が劣化することが指摘されおり、器材の消毒や滅菌に先立って行われる洗浄はとても重要な役割を果たしている。

今回の講演では、器材の洗浄に必要な感染予防と洗浄剤選択のポイント、洗浄の重要性について解説する。

## ②10:45~11:30 長田電機工業(株)

## 大切な患者さんとのコミュニケーションのポイント&amp;超音波スケーラーの活用法

長岐 祐子

「定期メンテナンスの患者様を増やしたい」「患者様とのコミュニケーションをもっと上手に取りたい」とお考えの歯科衛生士の皆様におすすめのセミナーです。また、「患者様にリラックスしてもらいながら行えるスケーリングのテクニックは?」「超音波スケーラーを使うことのメリットは?」など、実際に明日から歯科医院で使える超音波スケーラーのテクニックもご紹介致します。実際の症例を交えながら、臨床経験30年の長岐祐子先生が“普段の診療でどのように患者様と接しているのか”、“どのようにして超音波スケーラーを活用しているのか”をご説明いたします。講演後にはオサダブース内で実際に超音波スケーラーを使用して、お一人おひとりにテクニックのレクチャーを行い、日頃の疑問点などをお気軽に相談頂けます。また、1983年より販売しているオサダエナックの新商品「オサダエナック11W」が登場しました。テーブルクリニックにも登場しますので、臨床での活用術を体験して頂けます。短い時間ですが、是非この機会にご参加ください。

## ③11:30~12:15 ファイザー(株)

## アナフィラキシーにいかによびやく対応できるか?

名古屋第二赤十字病院 総合内科 横江 正道

蜂毒や食物、医薬品によりアレルギー反応を起こした場合、皮膚症状のみならず、呼吸器症状や消化器症状、粘膜症状など多彩な症状が現れた時には、アナフィラキシーを考えます。ときに重篤な病態に陥ると、血圧低下、呼吸困難などからアナフィラキシーショックとなります。呼吸状態の悪化などは一刻の猶予も許さない状況であり、救急対応が必要です。中でも重要な処置がエピネフリンの投与であり、より早く投与することが予後改善に寄与すると言われています。ラテックスアレルギーによってもアナフィラキシーを惹起することもあります。現在では、過去にアナフィラキシーを起こしたことがある方に対して、再発時にすぐにエピネフリンが投与できるよう、自己注射製剤が処方できるようになっています。山林などで蜂刺されに当たったときは、病院に搬送されるまでの時間も長くなるため、いち早く自己注射を行い、状態の改善をもたらすことが重要です。今回は、歯科処置に関連するアナフィラキシーの現状とその対応方法についてみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

## ④12:15~13:30 (株)デンタルダイヤモンド社

## 長期症例 LIVE “長持ちする” 行田臨床

東京都・医療法人社団 は・匠会 上北沢歯科/四ツ谷 三栄町歯科 行田 克則

「長期症例」とは、5年以上、それとも10年以上の経過年数があるケースを指すのでしょうか。その厳密な定義はないものの、一般的には10年超の症例と考えられますが、実際のところは、一般臨床家の先生方にとって10年以上フォローできているケースはさほど多くないのが現状です。そのため、5年経過しているケースが長期症例と呼ばれることも少なくありません。

長期症例といえば……。 「治療後に最低10年もたせることは当たり前。再治療は20年を超えてから」という信念のもとで診療を続ける行田克則先生が、自身の集大成とでもいうべき書籍『行田克則の臨床アーカイブ 補綴メインの長期100症例』(デンタルダイヤモンド社)を上梓されました。本書は、平均経過年数18年5ヵ月、再補綴率0.15%、補綴歯以外の生存率98.3%という、驚くべき行田臨床の結果が収載されている、まさに“アーカイブ”=“記録庫”です。今回の講演では、その100症例のなかから選りすぐりのケースを皆様と供覧し、その経過および結果にじかに触れ、行田臨床の真髄をその目で確かめていただきたいと考えています。

技術や材料が目覚ましい進歩を遂げている昨今、補綴物の長期維持・安定は、保険治療や自費治療を問わず、多くの一般臨床家の先生方がいまなお腐心しているテーマの一つです。「常に真剣勝負」である行田先生独自の視点や考察は、必ずや多くの先生方の日常臨床に寄与するものと確信しています。

## AED講習会

### AED(自動体外式除細動器)の「耐用期間」および適切な管理のご提案

株式会社ヤガミ

AEDの非医療従事者による使用が認められてから10年が経ち、公共施設始めさまざまな所で目にするようになりました。国内設置台数はすでに40万台を超えていると言われています。歯科医院様におきましても、「歯科外来診療環境体制加算」の施設基準に、緊急時の初期対応に必要な医療機器としてAEDが加えられたことから、多くの医院様で整備されていることと思います。

AEDは急速に普及した一方で、消耗品の有効期限がきちんと管理されていないなどの問題が指摘されており、適切な管理の必要性が訴えられています。また、近年では「耐用期間」についての周知徹底も求められています。

AEDには医療機器として、機能及び性能を維持し、使用することができる標準的な使用期限として耐用期間が設定されています。その期間は製造販売会社、機種により異なりますが、6年から8年ですので、早い段階で整備されたAEDの中には、既に耐用期間を過ぎているものがあると懸念されます。

本セミナーでは、AED各機種の耐用期間およびフィジオコントロール社の「ライフパック CR Plus」を例として日常点検の方法をご説明いたします。

ライフパック CR Plus は、国内で販売されているものの中で耐用期間が最長の8年間となっており、また、メーカー保証も同じく8年間受けることができるので、安心して使用していただくことができるAEDです。併せて、消耗品の追加費用が一切発生せず、煩雑な消耗品の有効期限管理に気を使わなくてよくなるサービスについてもご紹介いたします。

#### 【医療機器「耐用期間」の定義】

医療機器が適正な使用環境と維持管理の基に、適切な取り扱いで本来の用途に使用された場合、その医療機器が設計仕様書に記された機能及び性能を維持し、使用することができる標準的な使用期限を医療機器の「耐用期間」と定義する。

### 歯科診療時の緊急対応(偶発時対処法とJRC蘇生ガイドライン2015について)

株式会社セキムラ

歯科診療時における偶発時の救命処置は、AEDの操作も含めたBLS(一次救命処置)となります。

しかしながら一次救命処置に至るまでの兆候の発見、またどうなれば一次救命処置が必要なのかと言う事も大切な事であると考えます。

弊社ではAEDを使用するまでの過程を、順序だてて解説すると共に、歯科診療時の偶発症の発見の為、モニタリングの必要性から具体的なAEDの使用方法を解説をいたします。

またJRC蘇生ガイドライン2015が平成27年10月16日が公表されました。

主にCPR(心肺蘇生法)部分における2010年度版ガイドラインとの変更点も併せて解説いたします。

## AED講習会・実践訓練

(於：本館棟2F 第1ファッション展示場内 特設会場)

日にち	時間	企業名
2月20日(土)	13:00~13:50	(株)日本歯科商社
	14:30~15:20	(株)セキムラ
	16:00~16:50	(株)日本歯科商社
	17:30~18:20	(株)セキムラ
2月21日(日)	9:30~10:20	(株)日本歯科商社
	11:00~11:50	(株)セキムラ
	13:00~13:50	(株)日本歯科商社
	14:30~15:20	(株)セキムラ

## CAD/CAM用接着剤説明会

(於：本館棟2F 第1ファッション展示場内 特設会場)

日にち	時間	企業名
2月20日(土)	14:00~14:20	(株)松風
	15:30~15:50	(株)トクヤマデンタル
	17:00~17:20	Ivoclar Vivadent (株)
2月21日(日)	10:30~10:50	(株)ジーシー
	12:00~12:20	(株)モリタ
	14:00~14:20	スリーエムジャパン(株)ヘルスケアカンパニー

## 愛知県医学大会 ワークショップ

### (一社)愛知県歯科医師会

「外来環」コーナー 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー  
 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(臨床スポーツ歯科医)」更新用単位取得コーナー  
 「地域保健部Ⅰ」コーナー 「エピベン使用医師登録」コーナー 「滅菌・消毒」コーナー  
 「障がい者歯科」コーナー 「地域保健部Ⅲ」コーナー 「防災対策部」コーナー  
 「AED講習会」

### (一社)愛知県歯科技工士会

「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」  
 「(一社)愛知県歯科技工士会学術大会カービングコンテスト優秀作品展示」

### (公社)愛知県歯科衛生士会

第10回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

### 東海歯科用品商協同組合企画講演

- 12:30 ①山八歯材工業(株)「オープンデジタルデンティストリーの今後の展望」  
 13:15 ②(株)モリタ「明日から活用できる！スーパーボンドの最新情報と新製品のご紹介」  
 14:00 ③日本歯科薬品(株)「お口の汚れを軟化させてからめとる『お口を洗うジェル』」  
 14:45 ④ライオン歯科材(株)「予防歯科を本気で考える個別対応のセルフケア処方(根面う蝕ケア編)」  
 15:30 ⑤(株)ヨシダ「今、ブラッシング指導に求められる意識改革とは」  
 16:15 ⑥(有)デンタルテクニカ「咬合治療と呼吸改善による姿勢の変化」  
 17:00 ⑦クラレノリタケデンタル(株)「接着システム有効活用のポイント～保存治療から補綴治療まで～」  
 17:45 ⑧デンツサプライ三金(株)「新たに開発された高強度歯冠用硬質レジン雅(ミヤビ)とは? -保険でできるメタルフリー審美修復材料雅の臨床応用について-

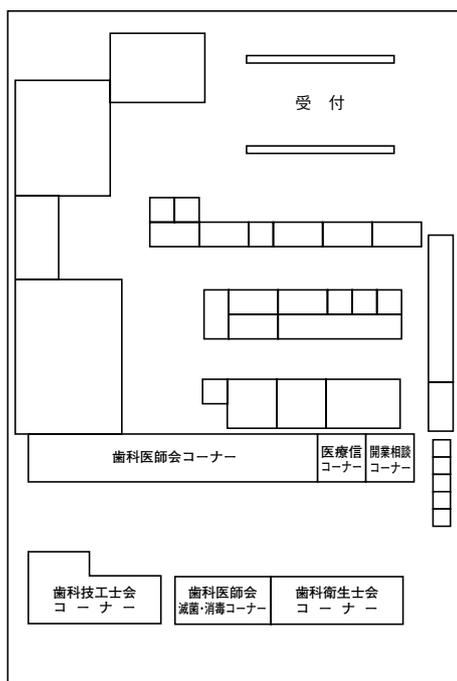
### 中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

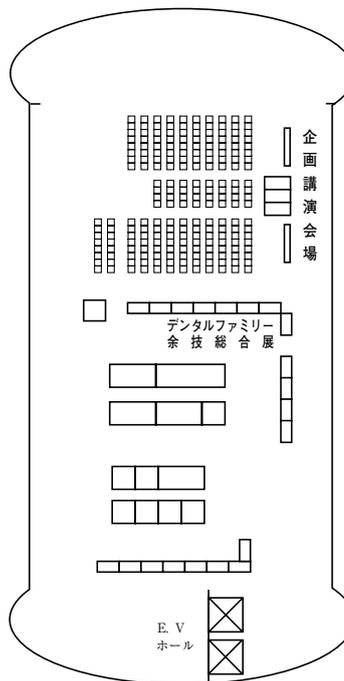
- ①医歯薬出版(株) ②(有)医学情報社 ③クインテッセンス出版(株) ④(一財)口腔保健協会  
 ⑤(株)デンタルダイヤモンド社 ⑥東京臨床出版(株) ⑦(株)永末書店  
 ⑧(株)日本歯科新聞社 ⑨(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑩わかば出版(株)

### 配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



## 愛知県歯科医学大会 ワークショップ

### (一社)愛知県歯科医師会

「外来環」コーナー 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー  
 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(臨床スポーツ歯科医)」更新用単位取得コーナー  
 「地域保健部Ⅰ」コーナー 「エピベン使用医師登録」コーナー 「滅菌・消毒」コーナー  
 「障がい者歯科」コーナー 「地域保健部Ⅲ」コーナー 「防災対策部」コーナー  
 「AED講習会」

### (一社)愛知県歯科技工士会

「テーブルクリニック」「ポスタープレゼンテーション」  
 「(一社)愛知県歯科技工士会学術大会カービングコンテスト優秀作品展示」

### (公社)愛知県歯科衛生士会

第10回 (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会「会員研究ポスター発表」

### 東海歯科用品商協同組合企画講演

- 10:00 ① A.R.メディコム・インク・アジア・リミテッド「歯科領域における洗浄の重要性(仮)」  
 10:45 ②長田電機工業(株)「大切な患者さんとのコミュニケーションのポイント&超音波スケーラーの活用法」  
 11:30 ③ファイザー社「アナフィラキシーにいかに対応できるか?」  
 12:15 ④(株)デンタルダイヤモンド社「長期症例 LIVE “長持ちする” 行田臨床」

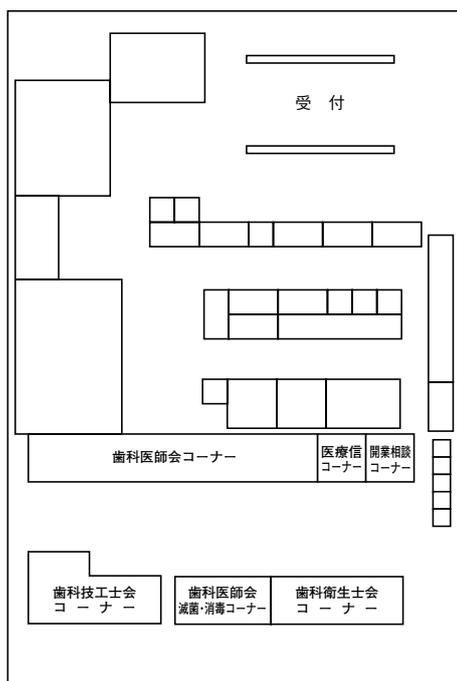
### 中部日本デンタルショー

「歯科に関する本なんでもコーナー」

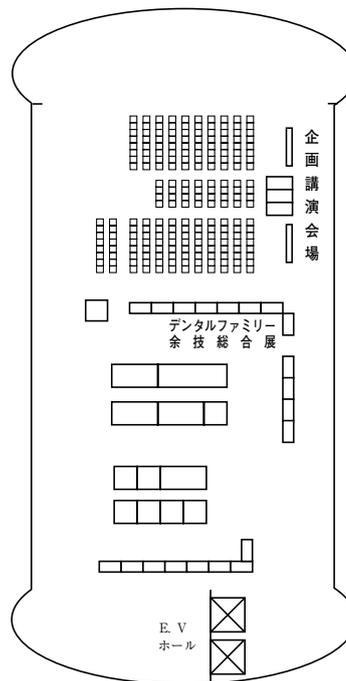
- ①医歯薬出版(株) ②(有)医学情報社 ③クインテッセンス出版(株) ④(一財)口腔保健協会  
 ⑤(株)デンタルダイヤモンド社 ⑥東京臨床出版(株) ⑦(株)永末書店  
 ⑧(株)日本歯科新聞社 ⑨(株)ヒョーロン・パブリッシャーズ ⑩わかば出版(株)

## 配置図

2階 第1ファッション展示場



3階 第2ファッション展示場



## 「外来環」コーナー

- ★歯科外来診療環境体制加算（初診26点再診4点）算定のための講習会
- ★必要器材の集中展示

歯科外来診療環境体制加算は日常臨床の場で起こりうる突発的な緊急の事態に備え、ハード面（医院や機材）とソフト面（スタッフ）を整備する事で、患者さんにより安全でより良い治療を受けていただく事を目的としています。

愛知県下においては、既に630医療機関（平成27年9月日現在）が外来環を算定しており、更に多くの医院で外来環算定のための環境を整えていただきたいと考えています。

本年度は、届け出に必要な講習会を開催すると共に、外来環を算定するために必要な条件、届け出の方法、設備投資費の説明、救急薬品の紹介をさせていただき、併せて器材の集中展示も実施いたします。

当日は、外来環算定のために必要な講習を実施し講習が修了された方には「外来環申請に必要な研修会を満たす修了証」をお渡し致します。

この機会をご利用いただき、ぜひ、外来環を算定していただけたら幸いです。

<お願い>

- ・AED講習会は2日間で6回開催されます。  
開始時間をご確認いただき是非ご参加下さい。
- ・講習会は歯科医師会会員および会員歯科医院に勤務の方に限ります。

## 「パノラマX線写真による骨粗しょう症の医療連携」コーナー

わが国における骨粗しょう症患者は約1,300万人と推定されています。骨粗しょう症の80%は女性であり、50歳以降は閉経後骨粗しょう症が急増しますが、大部分の方が無自覚のまま、骨折の危険のある状態で生活しているといわれています。

近年、歯科で撮影されるパノラマX線写真は、特に50歳以降の女性における骨粗鬆症性骨折の危険を知る手段として有用であることが判ってきました。

愛知県内にある協力歯科医院でおこなっている「パノラマX線写真による骨粗しょう症のスクリーニング」は、骨粗しょう症による骨折を未然に防ぐためのもので、健康寿命の延伸にも役立つものです。

現在、協力歯科医院は約1,630あり、整形外科、内科、婦人科、外科等の協力医療機関（約1,120）との間で医療連携が実施されています。

## 「エピペン使用医師登録」コーナー

共催：ファイザー(株)

近年、食物アレルギーによってアナフィラキシーを引き起こし、場合によっては死亡に至る事例等が問題となっています。歯科におきましても診療中に使用した医薬品、ラテックスアレルギーによりアナフィラキシーショックが発症した事例が報告されております。

診療中にアナフィラキシーショックが発症した時の緊急対応として救急搬送までの補助治療としてアドレナリン注射液エピペンの保管、用量設定が簡便なことから有用性が高まっています。

エピペンは、厚生労働省の承認の条件として「使用医師登録」の講習を受講頂いた先生が使用可能な薬剤です。本ブースでは、使用医師登録講習とご質問の回答を実施しております。先生方の診療中における緊急時対応確保の一助として頂ければ幸いです。

## 「愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度（臨床スポーツ歯科医）」

### 更新用単位取得コーナー

平成27年度より「マウスガード認定登録歯科医」から「臨床スポーツ歯科医」と変更となりました。

旧「マウスガード認定登録歯科医」及び「暫定のマウスガード認定登録歯科医」の先生方は下記の方法により「臨床スポーツ歯科医」として再登録できます。

- I. 旧マウスガード認定登録歯科医の先生方  
認定講習会の座学を平成27～30年度までの4年間に1回受講すること  
※未受講の場合は登録を抹消致しますので、ご注意ください

- II. 旧暫定のマウスガード認定登録歯科医の先生方  
(平成25～26年度に更新をされなかった先生)  
平成27年～28年度までの2年間の間に以下の①と②を行う  
①認定講習会の座学を1回受講すること  
②歯科医学大会においてDVD研修を受講する  
またはマウスガード制作実績報告【3症例】提出する  
※未更新の場合は登録を抹消致しますので、ご注意ください。

今後、臨床スポーツ歯科医が認定登録を更新するために、4年間に下記①～④の中から20単位以上取得し申請をすることにより更新していく制度となり、本日は②「歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修5単位」を実施いたします。

本会が企画いたしますビデオ・DVD研修は歯科医学大会のみでございますので、認定登録歯科医の方は是非お立寄り下さい。

- ① 愛知県歯科医師会主催の臨床スポーツ歯科医講習会(座学)の受講  
10単位(受講義務なし)
- ② 歯科医学大会において、ビデオ・DVD専用ブースでの研修  
5単位(2回を上限とする)
- ③ マウスガード製作実績報告書の提出  
5単位(2ケースを上限とする)
- ④ 愛知県歯科医師会が認める歯科医師会主催以外の関連研修会・講習会への参加  
5単位(2回を上限とする)

### 「滅菌・消毒」コーナー

共催：(株)GC

#### 【日本の滅菌のクオリティを世界基準へ】

このキーワードを胸に(株)ジーシーはドイツの『MELAG』社と協力し、感染管理意識が高いヨーロッパにて定評のある高圧蒸気滅菌器をご提供して参りました。

『MELAG』は1951年にドイツで創業した滅菌消毒器材専門メーカーであり、世界65カ国で取り扱いのある感染予防分野の世界トップメーカーです。

インプラントをはじめ、歯周外科など外科的処置が増加する歯科医療。また一方で外国人の日本への旅行者数も増加傾向であり、それに合わせて今までは対岸の火事であった様な感染症も徐々に日本国内でも話が上がるようになってきており、治療器材や、治療に携わるドクター・コメディカルスタッフを通じての交差感染防止の為に標準予防策が求められています。

(株)ジーシーグローバルスタンダードクオリティブースでは歯科医院で行われる標準予防策の中でも交差感染を予防する為に重要な『手指の衛生』に関する製品、『個人用防護具』に関する製品、『医療器材の洗浄・消毒・滅菌』に関する製品の展示に加えて、実際の消毒コーナーにおける器材の再汚染防止をテーマに『医療器材の洗浄・消毒・滅菌フロー』を展示ブースの中で実機に触れながら体感いただきたいと思います。

## 「障がい者歯科」コーナー

地域保健部Ⅲ（高齢福祉・歯科医療）では、県民に対する福祉事業として、愛知歯科医療センターにおける障がい者歯科診療とともに協力医の指導・教育を行っています。また、県下の郡市区の歯科医療センターと総合的な機能連携を行っています。今回、愛知県行政からの委託事業である「障害者(児)歯科口腔保健推進研修事業」について報告します。

この事業は、障がい者(児)が県内のすべての一次医療機関の先生方の診療所で歯科検診・歯科保健活動が受けられるよう、作成した「口腔ケアサポートマニュアル」を活用し、口腔ケアサポートに向けての体制づくりを図る事を目的としています。

## 「地域保健部Ⅰ（学校歯科保健・スポーツ歯科）」コーナー

### ＜0歳児からの口腔育成＞

身体とともに口腔の成長変化が大きな0歳児のよく噛むための口腔を育成するには、歯が萌出する前から歯科医師が関わる事が重要とされるようになってきました。今回0歳児からの口腔育成の取り組み方について紹介します。

### ＜学校歯科保健「歯科健康診査基準の標準化に向けて」＞

学校歯科保健は「保健教育」「保健管理」を適切に行うことにより児童生徒、職員の健康保持増進に努めることが大きな目的です。しかしその実現には家庭や地域の連携を緊密にする「組織活動」の充実が不可欠です。そのためには学校における歯科健康診査における検査基準の標準化を図り、地域のかかりつけ歯科医との連携を円滑に行うことも重要な課題です。そこで、「C、CO、G、GO」「不正咬合、不正歯列」等の検出基準についての統一を図るための展示をおこないますので、ご来場いただければ幸いです。

### ＜若い世代からの口腔ケア推進事業＞

歯周病は成人期に増加するため若い世代が自ら定期的に口腔管理を行う習慣を獲得することが重要です。このため愛知県では大学生の口腔状況を把握すると共に生活習慣調査を行い、今後の歯科施策の基礎資料を得るための事業を開始しましたので紹介します。

## 「地域保健部Ⅲ（高齢福祉・歯科医療）」コーナー

### 「当県における障がい者歯科診療に対する意識調査 —抑制治療に関して—」

障がい者(児)に対して必要不可欠な歯科診療行為を行う場合、本人の協力が得られない状況下では身体を抑制しての治療が行われている。「障害者虐待防止法」では、「正当な理由なく障害者の身体を拘束すること」は「身体的虐待」としている。また「障害者自立支援法に基づく指定障害者支援施設等の人員、設備及び運営に関する基準」等には、緊急やむを得ない場合を除き身体拘束等を行ってはならないとされている。

今回、県下13の障害者歯科診療施設に身体を抑制しての歯科治療に関する意識・志向性を調査したので報告する。

### 「当歯科医療センター受診の障がい者における摂食嚥下に関する意識調査」

愛知歯科医療センターを受診した障がい者の摂食嚥下に関する意識を把握し、今後の取組を検討するため調査を行った。「食べる時」の、むせ、よだれ、食べこぼし、口唇閉鎖、舌癖、咀嚼、食事の自立度、口唇周囲の過敏など、「食べること」に関する12項目について当センター作成の「ごっくんアンケート」を用いた。受診者の摂食嚥下に関する意識（ニーズ）は高いにも関わらず、食事に関する訓練、指導は少なかったことが明らかとなった。受診者の摂食嚥下意識（ニーズ）への早急かつ適切な対応、取組を検討する必要があると考えられた。

### 「愛知県歯科医師会が行っている在宅歯科医療連携室事業」

平成22年より本会は愛知県からの委託による在宅歯科医療連携室事業を展開している。本事業は、医療従事者や歯科医療従事者だけでなく、介護職員や県民にも広く口腔ケアの重要性を理解してもらおうと共に、在宅歯科診療を普及させることを目的としている。

在宅歯科医療連携室は本会事務局に設置し、歯科衛生士を本会会員診療所および高齢者福祉施設等へ講師として派遣する事業と、在宅歯科医療に関する問合せに対する情報提供を行っている。今回、これまでの5年間の実績を踏まえ、課題と対策を検討した。

### 「当歯科医師会での在宅療養支援歯科診療所の申請に関するアンケート調査」

愛知県の在宅療養支援歯科診療所届出数は251施設（平成26年5月現在）で、全施設の6.8%に過ぎない。愛知県歯科医師会として在宅療養支援歯科診療所の数を増やすことは、多職種連携を推進する上でも重要である。今回、本会として届出数を増やす対策を講じる目的で、本会会員で、名古屋地区、尾張地区、三河地区からそれぞれ届出数の少ない2郡市区ずつ、計6郡市区のうち届出をしていない会員372人を対象にアンケート調査を行い、対策を検討した。

## 「防災対策部」コーナー

東日本大震災では多数の住民が避難所生活を強いられ、肺炎等の災害関連死も報告されています。避難所では口腔ケア不足による誤嚥性肺炎のリスクが高まります。防災対策部では南海トラフ巨大地震や風水害等の襲来を想定し、地域保健部、歯科衛生士会、歯科技工士会、東海歯科用品商協同組合等の協力を得て愛知県総合防災訓練等で口腔ケアや緊急歯科診療の訓練を実施しております。また、愛知県歯科医師会では「診療所の減災行動」を掲げ、事前の準備をしていただくよう「地震防災ガイド」を発行いたしました。日頃からの準備がイザという場合に役立ちます。「備えあれば憂いなし！」

## (公社)愛知県歯科衛生士会学術大会 「会員研究ポスター発表」

本会では、歯科衛生士の資質向上を目的とし、研修事業を充実させ、数々の情報提供を行っております。この学術大会もそのひとつであり、今回第10回を企画いたしました。会員相互の研鑽の場として、また、歯科衛生士業務の多様化に伴う社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指す上で、自らの取り組みを発表致します。少しでも目標を立てて、未来を見つめることができる有意義な場にしたいと思っておりますので、多くの歯科衛生士にご参加いただければ幸いです。

### 記

- 発表 平成28年2月21日(日) 10:30~11:40  
ポスターの掲示は、歯科医学大会期間中となります。
- 会場 第1ファッション展示場ワークショップコーナー
- 発表者および演題（共同演者につきましてはポスターを参照ください）
  1. 「摂食嚥下リハビリテーションを他職種と協働で行っている胃瘻患者の口腔機能評価の立会、及びアセスメントの経験」 古瀬 早苗
  2. 「当院における医療廃棄物分別の現状と対策」 清水 梨奈
  3. 「口腔ケア時の誤嚥予防の試み」  
—口腔ケア用ジェルの新規開発 物性評価とプラークの除去効果— 藤田 恵未
  4. 「二次予防対象者における口腔・栄養・運動の複合プログラムの効果について」 柴田 真弓
  5. 「歯科診療室でのヒヤリハットから考える、安全な移乗についての検討」 山内 文絵
  6. 「インシデントの認識調査」 ～アンケート結果報告～ 長縄 弥生
  7. 「既卒者に対する歯科衛生ケアプロセスの研修方法における新たな取り組み」  
～受講者からのアンケート結果を考察して～ 柴田 享子

●要旨

1. 「摂食嚥下リハビリテーションを他職種と協働で行っている胃瘻患者の口腔機能評価の立会、及びアセスメントの経験」

○古瀬 早苗 (愛知県歯科衛生士会 人材育成研修生)

80歳女性、レビー小体認知症、パーキンソン病の病歴があり、平成27年1月右皮質下出血にて市民病院入院。経口摂取困難により経鼻経管栄養となる。経口摂取目的で転院したが改善せず胃瘻造設。6月より入所施設に戻る。家族より口から食べさせたいと強い希望があり、施設の看護師、訪問看護師、歯科衛生士による口腔ケアと機能訓練を行っている。今回看護師による口腔機能評価に立会い、評価法を学んだので報告する。

2. 「当院における医療廃棄物分別の現状と対策」

○清水 梨奈 (名古屋第一赤十字病院歯科)

医療機関から排出される廃棄物処理では、多くの人の手を介して行われており、感染症被害を防ぐために院内での適正な分別が望まれる。歯科口腔外科外来における廃棄物分別時の注意・工夫点を報告する。

3. 「口腔ケア時の誤嚥予防の試み」

-口腔ケア用ジェルの新規開発 物性評価とプラークの除去効果-

○藤田 恵未 (国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター 歯科口腔先端診療開発部)

本研究では口腔ケア中の洗浄水の誤嚥リスクの低下を目的に、口腔ケア専用ジェルの開発と、そのプラークの除去効果を検討した。開発したジェルBはその他のジェルに比べ物性評価が有意に高かった。ジェルBにて口腔ケアを行うことが洗浄水の誤嚥リスクの低下とプラークの除去効果が高いことが認められた。

4. 「二次予防対象者における口腔・栄養・運動の複合プログラムの効果について」

○柴田 真弓 (国立長寿医療研究センター 口腔疾患研究部愛知みずほ大学大学院 人間科学研究科)

平成26年度A県O市の二次予防対象高齢者を対象に、複合プログラムの効果を検証する目的で無作為比較対照試験を実施した。介入群には3か月間1週間に1度、全11回の口腔機能向上、栄養改善、運動器の機能向上のプログラムを実施した。複合プログラムによる、口腔機能、運動習慣の維持改善は食欲増加に繋がり、高齢者の栄養状態の維持改善に効果があることが示唆された。

5. 「歯科診療室でのヒヤリハットから考える、安全な移乗についての検討」

○山内 文絵 (愛知県歯科衛生士会 臨床歯科保健委員)

車いすで来院する患者が多くなった。非常に狭い診療室のスペースで車椅子からユニットへ移乗の介助が求められる。今回、臨床歯科保健委員会では安全に患者を移乗させるためのチェックシートを作成したので報告する。

6. 「インシデントの認識調査」 ~アンケート結果報告~

○長縄 弥生 (愛知県歯科衛生士会 学術)

歯科診療所で起こるインシデントについての報告が少なく実態を把握することが困難である。今回、愛知県歯科衛生士会研修会に参加した会員に対し、インシデントに関する認識調査を行ったので報告する。

7. 「既卒者に対する歯科衛生ケアプロセスの研修方法における新たな取り組み」

~受講者からのアンケート結果を考察して~

○柴田 享子 (愛知県歯科衛生士会 学術)

歯科衛生士業務の根幹である思考方法として歯科衛生ケアプロセスがある。本会は平成19年度より愛知県歯科衛生士会研修会に導入し普及啓発をおこなっている。平成26年度に研修方法の見直しをはかり、受講者の臨床現場の症例を活用し学習できる内容とした。今回受講者へのアンケート結果よりその方法を考察する。

20日(土) 午後1時

## セラミッククラウン、インレーの製作要点

ADTAトレーニングセンター 1期卒 池田 龍平  
(富山県歯科技工士会 会員)

ADTAトレーニングセンターでは、一年を通し前装冠からオールセラミックスまでの基礎知識から応用まで幅広い内容を学び、臨床に即座に活かすことのできる技術の習得に励んだ。その受講内容の中から自身が目を留めたのは、抜去歯を使用したプレスセラミックのステイニングテクニックである。日々の仕事の中で、自身が製作した補綴物が口腔内でどのように調和が図られているのかを知ることがあまりなかった自身にとっては、抜去歯を使用することで臨床により近い環境での実習と感じ、大変勉強になった。その実習の内容を少しばかりお話しをさせていただき、ADTAトレーニングセンターを知っていただければ幸いです。

21日(日) 午前10時30分

## 私の考えるセラミッククラウンの製作要点 ～ ADTA トレーニングセンターを受講して～

ADTAトレーニングセンター 1期卒 久保田 紘基  
(岐阜県歯科技工士会 会員)

一般社団法人愛知県歯科技工士会が主催されるADTAトレーニングセンターは、講義、実習のなかで、基礎から応用まで、それぞれのステップを臨床の技工に則した形で、細部まで非常に丁寧に御指導して頂きました。受講内容のひとつであるセラミックワークに着目すると色調再現があり、そのアプローチには様々あるなかで、基本的な知識の獲得が重要であると考えます。そこで、使用する陶材のテストピースの作製を行い、それを陶材の選択ツールとして使用することで一定の成果が得られていることなど、本発表では、受講後の自身の日常臨床において取り入れた知識やテクニックについて、セラミッククラウンの製作ステップを通して報告したい。

## 愛知県歯科医学大会 生涯研修事業取得可能単位数

各団体主催の講演会・ワークショップ等に参加されますと下記単位を取得することができますので、振るってご参加下さい。各内容については該当ページをご参照下さい。

日本歯科医師会 特別研修に該当致します。(10単位)

【日本歯科医師会会員】 2月20日(土)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.30
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	P.30
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(臨床スポーツ歯科医)更新用単位取得コーナー(DVD放映)【旧 マウスガード】	2403	1単位	P.31
・「エビペン使用医師登録」コーナー	3003	1単位	P.30
・「滅菌・消毒」コーナー	2306	1単位	P.31
・「防災対策部」コーナー	2114	1単位	P.33
・「地域保健部Ⅰ」コーナー	3003	1単位	P.32
・「地域保健部Ⅲ」コーナー	2107	1単位	P.32
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.36
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.34
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	3102	1単位	P.22①
	3102	1単位	P.22②
	2899	1単位	P.22③
	3002	1単位	P.22④
	2501	1単位	P.23⑤
	2801	1単位	P.23⑥
	2603	1単位	P.23⑦
3103	1単位	P.23⑧	
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.40
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.40

2月21日(日)

研修対象事業	研修コード	単位数	掲載ページ
「愛知県歯科医学大会特別講演」	2504	2単位	P.12
「愛知県歯科医師会企画講演」	2902	2単位	P.16
「愛知県歯科技工士会企画講演」	2608	2単位	P.18
「愛知県歯科衛生士会企画講演」	2899	2単位	P.20
「ワークショップ」 ・「外来環」コーナー	2401	1単位	P.30
・「骨粗しょう症」コーナー	2906	1単位	P.30
・愛知県歯科医師会認定登録歯科医制度(臨床スポーツ歯科医)更新用単位取得コーナー(DVD放映)【旧 マウスガード】	3003	1単位	P.31
・「エビペン使用医師登録」コーナー	2403	1単位	P.30
・「滅菌・消毒」コーナー	2306	1単位	P.31
・「防災対策部」コーナー	2114	1単位	P.33
・「地域保健部Ⅰ」コーナー	3003	1単位	P.32
・「地域保健部Ⅲ」コーナー	2107	1単位	P.32
・愛知県歯科技工士会(ブース全体)	2207	2単位	P.36
・愛知県歯科衛生士会(ブース全体)	2599	2単位	P.34
「東海歯科用品商協同組合企画講演」	2306	1単位	P.24①
	3101	1単位	P.24②
	2706	1単位	P.24③
	2699	1単位	P.24④
「歯科に関する本なんでもコーナー」	2199	1単位	P.40
「中部日本デンタルショー」	3199	2単位	P.40

【愛知県歯科技工士会会員】

愛知県歯科技工士会生涯研修(自由課題) 4単位に該当いたします。

【日本歯科衛生士会会員】

愛知県歯科衛生士会企画講演に受講された場合は、日衛の生涯研修制度に登録されます。

## 第30回デンタルファミリー余技総合展

を開催するにあたり



愛歯余技クラブ

会長 白井 暉 二

デンタルファミリー余技総合展を今年は第30回の記念展として開催いたします。この展覧会は、歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーと同時に開催し、過去多くの歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、歯科助手、歯科材料商、教育機関、メーカー、その他歯科関係者とそのご家族の方々の作品を展覧してまいりました。今日まで30回を継続できましたことは、一重に諸先輩のご努力の賜物であり主催者としていたしまして大変嬉しく思います。

作品には日本画、洋画、水墨画、俳画、書道、彫刻、写真、陶芸、工芸、手芸、生花、魚拓、盆石、盆栽、ドライフラワー、絵手紙、アートフラワー等、経験豊富な芸術作品から、学生による手作りのアイデア作品や、子供さんの心温まる工作などまさしく余暇の作品を展示してまいりました。

今年度の第30回記念展は例年に増して盛大な展覧会となりました。出展者の様々な作品が今年度も愛知県歯科医学大会・併設中部日本デンタルショーの会場に一輪の華を添えることができ、大変嬉しく思います。ご参加の皆様には、是非とも余技総合展コーナーにお立ち寄りご観覧下さい。

また2月21日（日曜日11:30～15:00）には茶席を設けますので皆様の「憩いの場、交流の場」としてご利用下さい。

第30回記念デンタルファミリー余技総合展を催すにあたりまして、今年度も多くの方々のご協力をいただきました。会場の設営をしていただきました、東海歯科用品協同組合をはじめ、歯科医師会、歯科技工士会、歯科衛生士会、愛歯余技クラブ役員の皆様、そしてとりわけ出展者の皆様にこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。



故 渡辺茂先生 俳画作品



故 辻川次郎先生 生花作品